

学びの杜通信



第3号（夏休み直前号） 平成26年7月11日発行

8月の予定から

生涯学習推進セミナー

教職員のためのパワーアップ講座 **支えます**

「よい学校は、よい地域にしか存在しない」と言われます。学校の教育活動は、保護者や地域住民からの信頼と協力で、より効果を発揮すると考えられます。本研修では、主に教員を対象として、学校・家庭・地域の連携による学校づくりや地域づくりのために必要なスキルの向上を目指します。本研修は、初任者・教職2～5年目・10年目研修の選択研修としての受講が可能です（旅費は学校負担となります）。

◇ 研修プログラム ◇

期日	内 容 ・ 講 師
8/8(金)	○演習「学びの場に生かすワークショップ体験」 総合教育センター職員
9:30～16:00 (受付 9:00～)	○講話・演習「地域住民や保護者とのよりよい関係づくりにむけて」 スマイルコミュニケーション代表 小林 里江 氏

申込みは、E-mail、FAX 等で受け付けています。申込書は、以下のページからダウンロードできます。

→Click!

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/topics/kensyu/h26/power-up.html>



問合せ先 生涯学習部 (Tel 028-665-7206)

資料紹介 …子どもの生活状況はどのように変化している？…

パンフレット

「生活をデザインする～平成25年度栃木の子どもの生活状況調査報告 概要～」 **広げます**

研究調査部では、5年毎に県内の小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生とその保護者を対象に、生活の状況や意識に関する調査を行っています。

今回の調査では、「早寝」「朝食」「家庭学習時間」が、それぞれ前回よりも望ましい方向に向かって変化していることが分かりました。また、詳しい分析から、子どもにとって、生活のリズムをつくること、「学習意欲」「規範意識」「自己有用感」「協同性」「将来展望」などにも深く関わっていることが分かりました。

このパンフレットでは、経年変化や学年間の比較結果とともに、大人が子どもの心に働きかけることによって、子ども自身が自らの生活を自分の力で工夫・改善できるようにすること、つまり「生活をデザインする」力を育むことが大切であることや、

そのためのポイントとして「傾聴」「称賛」「指導」による大人の関わりが重要であることを解説しています。

このパンフレットのほか、調査結果の全てを報告書として、以下のページに掲載していますので、学校での指導や保護者会等に御活用ください。

→Click!

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/seikatsu-h25/>



作品募集 **支えます**

○第64回栃木県児童生徒発明工夫展覧会

本展覧会は、創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通して、児童生徒の豊かな観察力と想像力を育成することを目的として、毎年実施されています。

「発明」というと難しく感じる方も多いと思いますが、日々の生活に役立つものや「あれば便利だな」と思うもの、手作りのゲームなど、自分なりの工夫をして子どもが作ったものであれば出品できます。実際に、毎年、小学校1年生のかわいらしい作品から、高校生の大がかりなものまで多数出品いただいています。

作品を出品した方には全員に記念のメダルが配られます。夏休みの自由研究として、「工夫を加えたものづくり」に挑戦させてみませんか。これまでの金賞受賞作品や、出品方法の詳細については、以下のページを御覧ください。

受付期間：平成26年 9月1日（月）～12日（金）

作品搬入：平成26年 9月30日（火）13：30～16：00

展覧会：平成26年10月3日（金）～5日（日）

搬入先・展覧会会場
栃木県子ども総合科学館

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h26-hatsumei/yoko.htm>



○第58回日本学生科学賞栃木県展覧会

日本学生科学賞は、国内で最も長い歴史と伝統を誇る科学コンクールです。県の展覧会において高い評価を得た作品は、東京で開催される中央最終審査に出品することができます。さらに、中央最終審査でも上位入賞すると、副賞として研究奨励金が授与されるほか、高校生にはアメリカで開催される世界規模の科学コンテスト（ISEF）への派遣や、国公立大学から特別選抜入試等の受験資格が与えられるなどの特典もあります。

出品できる作品は、個人研究または同じ学校の生徒による共同研究で、物理・化学・生物・地学・広領域のいずれかの領域における科学的な研究です。夏休みの自由研究や部活動などを通して研究した作品を、どしどし御応募ください。

本展覧会は、費用をかけた豪華さを競うコンクールではありません。時間をかけて科学的に疑問を究明していく態度を評価します。身の回りにある小さな疑問や、教科書に書かれている学説に対する疑問など、研究する子どもたちの「科学する心」が伝わってくるような作品を期待します。

詳しくは、各学校にお配りした実施要項、ポスターや、以下のページを御覧ください。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h26-kagakusho/>



お知らせ ****保護者向けチラシ・情報モラルリンク集**** **支えます**

研究調査部では、この度、児童生徒のネットトラブル防止のための**保護者向けチラシ** ([→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/jissenshiryou/johomorals/index.htm#moral_h26](http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/jissenshiryou/johomorals/index.htm#moral_h26))を作成しました。地域や学校の実情に応じて、保護者への配付資料などとして御活用いただければ幸いです。

また、センターホームページ上の情報モラルに関するWebサイトリンク集を更新しました。児童生徒への情報モラル指導のための資料や、保護者への啓発のための資料が掲載されていますので併せてご活用ください。

○情報モラルに関するリンク集

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/h20morals/sozai/link2.htm>



この通信に関する御意見・御質問等は、総務部企画調整担当（Tel 028-665-7202）までお願いします。